

立命館経済學

第十八卷 第五・六号

昭和四十五年二月

内 容

論 説

- 実現理論としての成長理論……………建 林 正 喜 1
高度経済成長過程における『自動安定装置』と
国家所有（素描）……………手 嶋 正 毅 22
比較生産費説の展開……………清 水 貞 俊 76
戦時労働市場に関する研究……………三 好 正 巳 103

研 究

- ジョン・ロックの経済理論とその体系性……………稲 村 勲 137

研究ノート

- 県民所得統計の発展と県民所得標準方式……………後 藤 文 治 160
資本論における方法と世界観（中その二）……………榎 明 秀 228
——その残された諸問題の一つについて——
共同研究室……………255

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第十八巻・第二・三号

論説

京都商人の商魂について(一)……………足立政男

—京都の老舗における店則から—

銀行資本における観念論批判……………小牧聖徳

—研究方法との関連において—

労働力政策に関する覚え書……………三好正巳

研究ノート

独占段階成立期の資本制的労働過程 坂本和一

—鉄鋼業の場合—

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第十八巻・第四号

論説

京都商人の商魂について(二)……………足立政男

—老舗の店則から見えて—

研究

ジョン・ロックの経済理論とその

体系性……………稲村勲

研究ノート

資本論における方法と世界観(中、その二)

……………梯明秀

発行所 立命館大学経済学会